

令和5年度事業報告書

自 令和5年4月 1日

至 令和6年3月31日

1. 事業概要

一般財団法人奈良市総合財団は、奈良市が設置する公共施設の指定管理者として、利用者の視点に立った管理運営に努め、多様化するニーズに応じてあらゆる人にとって利用しやすい施設を目指すとともに、文化・スポーツ・武道の普及振興事業及び「ならまち」・「都祁地域」の歴史文化資産を利用した地域振興事業並びに中小企業勤労者に対する福利厚生事業を実施し、文化の創造及び市民福祉の増進に努めた。

令和5年度からは、北部会館市民文化ホール及びなら工芸館が指定管理施設でなくなったことから経営基盤が極めて厳しい状況となったため、将来に向けた収支不足対策の検討を進め、収益性の確保のために新しい事業の創出や既定事業の見直し及び経費節減等による経営改善に努めた。

今後当財団の運営にあたっては、内部統制の整備や職員の育成を積極的に進めて、市民の要請にきめ細かく応えるための努力を重ねて、地域社会の発展に寄与するべく財団運営を図っていく。

2. 事業内容

各施設の設立趣旨等を踏まえた管理運営と文化の創造と福祉の増進に寄与することを目的として文化振興事業、スポーツ・武道普及振興事業、まちづくり振興事業、勤労者福祉サービス事業、都祁地域振興事業を推進した。

(1) 文化振興事業

[指定管理施設]

管理施設の入館者数は以下のとおりであった。 ※（ ）内は対前年度増減率

なら100年会館	入館者数	225,053人	(35.3%)
奈良市美術館	入館者数	56,455人	(40.1%)
奈良市杉岡華邨書道美術館	入館者数	5,425人	(14.1%)

文化事業グループ3施設では、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、利用制限を設けず各種事業を通常どおり開催した。このことにより、なら100年会館は、約58,600人、奈良市美術館は、約16,100人、奈良市杉岡華邨書道美術館は、約600人、入館者数が前年度より増加した。

(事業内容)

豊かな市民文化の形成を図り、鑑賞・創造・学習を柱に市民の美術鑑賞と創作活動

の活性化に寄与するための事業を実施した。

○なら100年会館

次世代を担う若手演奏家に活動の場を提供する「なら100クラシックコンサート」、子どもやファミリー向けには、「0歳から楽しめるオーケストラコンサート with 大阪交響楽団」、「なら100ふれあいコンサート ブッピースとうたってあそぼう」等の事業、さらに、アウトリーチ活動として奈良学園小学校へ大阪交響楽団を派遣し、コンサートを開催した。また、ピアノ愛好家のためには、3種類のピアノブランドを活用した「ピアノ試弾会」を実施した。協働・共催事業としては、大宮地区自治連合会と「大宮まつり」、市民フェスティバル実行委員会と「なら市民フェスティバル」、春咲きコンサート実行委員会と「春咲きコンサート」を実施。また、音楽に親しむ機会を提供するため、18歳以上が対象の「ゆうゆうコーラス」や未就学児とその保護者向けの「たのしいリトミック教室」を開講した。さらに、市民の健康維持を支援するために、健康いきいき講座（ヨガ教室、ソフトストレッチング、ピラティス）の開講。そして、中高年層や若年層をターゲットにした昭和歌謡・ポップスのコンサートや若手アーティストのコンサートも開催し、多様な層に文化活動への参加を促した。

催事等の開催回数 389回 参加人数 63,177人

○奈良市美術館

主催・共催による展覧会として、奈良市美術家協会と連携して会員による優れた作品を展示する「第42回奈良市美術家展」、美術作品の創作意欲を高めるための公募展「第42回市展なら」、近代奈良の芸術、歴史、生活文化を掘り下げて紹介するシリーズの企画展「奈良を観る」、児童生徒の図工美術の成果を紹介する「第20回奈良市児童生徒作品展」、市内中学校の美術作品を紹介する「第4回奈良市中学校美術部合同展 若鹿たちの美術」、奈良市美術館活性化事業として子どもから大人まで楽しめる「絵本作家 岡田よしたかの世界」を開催し市民文化の創造と振興の促進を図った。

その他、講座関連事業として、奈良の奥深い魅力を散策しながら紹介する「奈良の散歩道」、奈良市美術家協会や奈良女子大学との連携協力による「2023年度市民実技講座・子供のやさしいアート体験」、「第41回市民実技講座作品展」、「仏教美術講座」を開催し芸術文化の発信に寄与した。

催事等の開催回数 21回 参加人数 19,401人

○奈良市杉岡華邨書道美術館

企画展として、平安時代の古筆や奈良時代の古写経といった貴重な資料を公開する初の展覧会の第3回展となる「成田山書道美術館所蔵 松崎コレクションの古筆と古写経③」や書芸術や書教育などで活躍する多くの人材を輩出してきた書の専門教育を行う大学に焦点を当て紹介するシリーズ展の第3回となる「京都教育大学で学んだ書

家群像」、杉岡華邨氏生誕110年記念の「五鳳と華邨—共に咲く師弟の歩み—」を開催した。館蔵品展「華邨の書に学ぶ—かな作品を臨書する①細字を中心に—」では、華邨作品から臨書で学ぶテキストとして相応しい作品を集め紹介した。

企画展にあわせて書道文化講座を3回開催、また、書道実技講座として、うちわ・カレンダーを書くワークショップ、高木厚人館長が課題作品を講評・指導する講座「かなの散らしを楽しむ」を2回開催、水書きで気軽に書道を体験できる「筆書き体験コーナー」や学芸員による「作品解説会」を行った。また、本年度より新たに隔月開催の「初歩からはじめるかな書」を始めた。

その他にも奈良教育大学仮名書道研究室の協力により子ども向けの夏休みクイズやわらべうたフェスタでのかな書き体験のワークショップ、さらには未就学児童を対象にした「はじめての子ども筆書き体験講座」等の連携事業を行った。

また、奈良市ならまちセンターとの共催により「第3回ならまち年賀状コンクール」や名勝大乘院庭園文化館や奈良市役所玄関ホールでの出張パネル展や道ばた美術館の開催、動画配信により奈良市杉岡華邨書道美術館の広報普及を行った。

催事等の開催回数 56回 参加人数 10,466人

(2) スポーツ・武道振興事業

[指定管理施設]

管理施設の利用者数は以下のとおりであった。 ※（ ）内は対前年度増減率

奈良市鴻ノ池陸上競技場等12体育施設

利用者数 871,738人 (70.7%)

奈良市鴻ノ池陸上競技場

奈良市鴻ノ池球場

奈良市鴻ノ池コート

奈良市鴻ノ池スケートボードパーク

奈良市中央体育館

奈良市中央第二体育館

奈良市南部生涯スポーツセンター体育館

奈良市柏木コート

奈良市南部生涯スポーツセンターコート

奈良市柏木球技場

奈良市南部生涯スポーツセンター球技場

奈良市南部生涯スポーツセンター多目的コート 以上12施設

奈良市中央武道場等4体育施設

利用者数 115,804人 (9.3%)

奈良市中央武道場

奈良市中央第二武道場

奈良市弓道場

奈良市鴻ノ池相撲場 以上4施設

奈良市西部生涯スポーツセンター屋内温水プール等18体育施設

利用者数 273,710人 (0.1%)

奈良市緑ヶ丘球場

奈良市西部生涯スポーツセンター体育館

奈良市青山プール

奈良市西部生涯スポーツセンター屋内温水プール

奈良市黒谷コート

奈良市平城第一コート

奈良市平城第二コート

奈良市青山コート

奈良市佐保山コート

奈良市西部生涯スポーツセンターコート

奈良市黒谷球技場

奈良市平城第一球技場

奈良市平城第二球技場

奈良市奈良阪球技場

奈良市登美ヶ丘球技場

奈良市西部生涯スポーツセンター球技場

奈良市西部生涯スポーツセンターゲートボール場

奈良市西部生涯スポーツセンタークラブハウス 以上18施設

奈良市鴻ノ池陸上競技場等12体育施設を指定管理者の奈良市スポーツまちづくり推進パートナーズ代表ミズノスポーツサービスと協働で管理運営を行い、各施設で記録会や大会を開催した。「Top Sports City 奈良」のパートナーチームであるプロサッカーチーム奈良クラブがJ3リーグをロートフィールド奈良で開催し、プロバスケットボールチームバンビシャス奈良及びプロバレーボールチーム奈良ドリーマーズがロートアリーナ奈良で試合を開催した。奈良市鴻ノ池陸上競技場等11体育施設では年度途中に新たにスケートボードパークが追加され、管理施設が12体育施設となった。ロートアリーナ奈良及び各体育館照明のLED改修工事、ロート奈良テニスコートはフェンス改修工事が行われ、また、補助競技場では第1種公認工事が行われている。

奈良市西部生涯スポーツセンター屋内温水プール等18体育施設では、体育館棟、温

水プール更衣室等のLED改修工事が行われたが、空調機故障のため屋内温水プールは12月28日から臨時休館した。青山コートは、ハードコートから人工芝への張替工事が2月10日から開始された。

改修工事等により複数施設が使用中止となったが前年度と同等の入場者数であった。

(事業内容)

体育、スポーツ及び武道の普及振興を図ることにより、健全な心身の維持及び発達並びに明るく豊かな生活の形成に寄与するための事業を実施した。

○奈良市鴻ノ池陸上競技場等12体育施設

奈良市スポーツ協会に加盟している各種団体と連携して競技スポーツの教室や健康増進につながる事業を実施した。また、「Top Sports City 奈良」のパートナーチーム「バンビシャス奈良」と提携してバスケットボールスクールを開催した。新規事業として民間企業とタイアップし「モルック大会」、「親子サッカー教室」を開催した。

催事等の開催回数 689回 参加人数 11,354人

○奈良市中央武道場等4体育施設

武道発祥の中心地として、剣道・柔道・なぎなた・槍術・弓道等の各種武道関連団体との連携協力のもと武道教室を開催し、人格の形成、道徳心の向上、礼節を尊重する心の養成を図るとともに、武道人口の裾野の拡大及び武道の更なる発展・活性化に努めた。また、日本を訪れる外国人観光客向け事業の弓道体験教室はより多くの体験機会を提供できるよう日程を増やして開催した。この取組が評価されスポーツ文化ツーリズムアワード2023において「外国人観光客向け本格的弓道体験～古の都奈良で武士の魂にふれてみよう～」【武道ツーリズム賞】特別賞を受賞した。

催事等の開催回数 1,275回 参加人数 24,933人

○奈良市西部生涯スポーツセンター屋内温水プール等18体育施設

屋内温水プール、体育館を活用した「水泳教室」や「ストレッチ教室」等を実施した。新規事業は、奈良市富雄東地域包括支援センターと共催で「介護予防・認知症予防講座」を開催した。

屋内温水プールの臨時休館で3期の「水泳教室」等が開催出来なくなったことから前年度より事業の開催回数、参加人数はともに減少した。

催事等の開催回数 803回 参加人数 17,005人

(3) まちづくり振興事業

[指定管理施設]

管理施設の入館者数は以下のとおりであった。 ※()内は対前年度増減率

奈良市ならまちセンター 入館者数 111,041人 (△22.5%)

奈良市音声館	入館者数	43,470人	(4.1%)
入江泰吉記念奈良市写真美術館	入館者数	28,469人	(1.9%)
入江泰吉旧居	入館者数	5,744人	(44.5%)
奈良市ならまち格子の家	入館者数	68,377人	(18.6%)

奈良市ならまちセンターでは、外壁等改修工事に伴う9ヶ月間の貸館停止や多くの自主事業が中止となり、約32,300人の減少となった。

入江泰吉記念奈良市写真美術館では、話題性のある写真家を取り上げたことや「第5回入江泰吉記念写真賞」の開催、奈良女子大学との連携協力により若年層への写真芸術の普及に努めて、約500人の増加となり復調の傾向にある。入江泰吉旧居は、奈良へ訪れる観光客が増えたことで、約1,800人の増加となり、着実にコロナ禍以前の状態へと戻りつつある。

(事業内容)

なら・まほろば景観まちづくり条例に基づく奈良町都市景観形成地区を中心とした「ならまち」において、地域の文化振興・活性化のための事業及び広報啓発事業を実施した。

○奈良市ならまちセンター

館内外改修工事の影響が少ない芝生広場や1階ギャラリーを中心に自主及び企画、共催事業を開催した。

奈良出身の演奏家を支援する「ならまちコンサート」や奈良市ふるさと納税を活用した「暮らしに芸術の感動を届けるプロジェクト」など、魅力ある文化芸術を多くの方に届ける事業を館外20か所で開催した。また、地元大学生と連携した「奈良学生演劇祭」、芝生広場では奈良市総合財団各施設のPRを目的とした「ゆかいな仲間たちマルシェ」やピクニック気分ですっきり読書を楽しむ「ならまち青空BOOK CAFE」、奈良の魅力を発信するアート展やワークショップを1階ギャラリーで開催した。

催事等の開催回数 52回 参加人数 96,283人

○奈良市音声館

奈良で古くから歌い継がれてきた“わらべうた”を後世に伝える「ならまちわらべうた教室」、子どもが伝統文化や邦楽を学ぶ場として「伝統文化を学ぼう～子どもお茶教室・子どもいけ花教室・子ども和裁教室～」、「子ども邦楽教室～箏・三味線～」を行った。また、大人が邦楽を学ぶ場として「大人の邦楽～浄瑠璃・箏～」を開講した。奈良の民話普及事業では、民話を題材にした創作ミュージカル公演を2月に4日間開催した。また、大型紙芝居の定期公演に加えアウトリーチ活動として小学校等への出張公演やならまち格子の家での民話の語り公演を行った。わらべうた普及事業である「出張わらべうた教室」は年間を通して開催した。また、夏休みに「子ども制

作教室」を開催した。

「スタインウェイピアノを弾いてみよう」は、好評のため連休に合わせて開催日数を増やし、さらに夏休みに子ども向けの同催しを行う等、事業の拡大を図った。

催事等の開催回数 261回 参加人数 6,349人

○入江泰吉記念奈良市写真美術館

展示事業では、企画展として入江泰吉と同様に約半世紀にわたって撮り続けている写真家「池本喜巳展」や写真人生の軌跡を紹介した「百々俊二展」、若手作家の展覧会を開催した。また、本年度開催された第五回入江泰吉記念写真賞受賞作品の眞岡綺音氏「陸の珊瑚」や、第五回ならPHOTOCONTESTでは「なら賞」、「日本経済新聞社賞」等、選出された約30点の作品を展示した。その他、奈良国立大学機構（奈良女子大学）と連携協力し、文化庁の「大学における文化芸術推進事業」の一環として、大学と美術館のそれぞれの強みを活かした事業を展開し、その成果を展示公開した（作家・シムラブロス、藤岡亜弥、アンジュンの作品を展示）。

さらに入江泰吉展では新しい奈良の魅力を探る企画として、文楽の演目のゆかりの地を入江作品で紹介する「文楽と大和の風景」や世界文化遺産登録25周年を記念した展覧会「約70年前の古都奈良の貌」と称して約70年前の懐かしい写真を展示した。

館外事業では、春日大社協力のもと境内の着到殿で入江作品を展示し入江泰吉のPRと写真美術館への誘導を図った。

昨年度から取り組んでいるメタバースの実証実験では奈良女子大学気球部、奈良市立都祁小学校、奈良県立奈良南高校写真部と協力し、メタバース内の仮想空間で展覧会をつくり事業展開した。また、奈良地域アートインクルージョン推進事業実行委員会が主催する文化庁補助金事業ではデジタル技術を使って地域のコミュニティとコミュニケーションを図り文化芸術を向上させることを目的に吉野郡下市町、奈良市田原、都祁、月ヶ瀬の4か所出張美術館を実施した。

奈良市観光協会や国立文楽劇場等と協力したこともあり、新たな客層の誘客に繋がった。

催事等の開催回数 73回 参加人数 25,029人

○入江泰吉旧居

来館者数は前年度に比べ大きく増加した。暗室を使った密室での事業や「お抹茶でひとやすみ」といった飲食の伴う事業については新型コロナウイルス感染症が収まりつつあるが社会状況を考慮し、回数を減らして実施した。また、「入江泰吉を語り継ぐ」「入江泰吉さんぽみち」「入江泰吉と奈良ゆかりの人々」等の講座イベントを実施した。来館者の多くは奈良への旅行者であるため、広報戦略を見直し、講座イベントの充実を図った。

催事等の開催回数 31回 参加人数 239人

○奈良市ならまち格子の家

来館者に対する案内業務（受付やならまち観光の見所紹介）や「ならまちの歴史と町並み紹介」の常設展示、共催事業として、「奈良の民話を楽しもう」を年3回開催した。協力事業として、コトノハ（奈良女子大学フリーペーパー団体）によるパネル展「池田千恵子絵画展」を10月、なら町家研究会による「明治時代の奈良町家」パネル展を1月に開催した。

催事等の開催回数 36回 参加人数 6,723人

(4) 勤労者福祉サービス事業

[指定管理施設]

管理施設の入館者数は以下のとおりであった。 ※（ ）内は対前年度増減率

奈良市勤労者総合福祉センター 入館者数 53,259人（6.4%）

奈良市勤労者総合福祉センターでは、事業参加者の増加もあり入館者数は増加した。

(事業内容)

地域経済の担い手である中小企業勤労者を対象に、福祉の向上及び余暇活用の充実、生活の安定を図るため、総合的な福祉事業を実施した。

○奈良市勤労者総合福祉センター

パソコン教室やヨガ教室、陶芸教室のほか、各種教室を開催した。

催事等の開催回数 66回 参加人数 6,146人

○勤労者福祉サービスセンター事業部門

企業内福祉をサポートする役目を担い、勤労者の福利厚生の実現に役立つ事業を実施した。具体的には、市内の中小企業の事業所に対し、福祉事業の内容について広報を行うとともに加入の促進を図った。また、福利厚生事業として会員及びその家族を対象に、施設割引利用、会員の相互扶助を基本とした各種給付事業、健康維持・健康増進事業及び文化各種教室の受講費補助を行う健康管理事業並びに貸付斡旋事業を実施した。

本施設における各事業に対する利用者数

施設利用事業	延べ人数	16,042人
健康管理事業	延べ人数	2,829人
給付事業		907人
厚生事業（催事等）	3回	127人

(5) 都祁地域振興事業

[指定管理施設]

管理施設の入館者数又は利用者数は以下のとおりであった。

※ () 内は対前年度増減率

奈良市都祁交流センター	入館者数	12,187人	(0.3%)
奈良市都祁体育館	利用者数	10,235人	(15.1%)
奈良市都祁生涯スポーツセンターコート	利用者数	3,462人	(20.5%)
奈良市都祁生涯スポーツセンター球技場	利用者数	16,290人	(9.3%)
奈良市都祁生涯スポーツセンター多目的コート	利用者数	228人	(△21.4%)
奈良市都祁生涯スポーツセンタークラブハウス	利用者数	0人	(△100%)

奈良市都祁交流センターは前年度と同等の入館者数であった。

奈良市都祁体育館については、「e古都なら」予約システムの定着のほか、バスケットボール、バレーボール、卓球等の人気スポーツが話題になったこともあり、利用者も1,300人以上の増加となった。

奈良市都祁生涯スポーツセンター等4体育施設については、夏期の猛暑や冬期の凍結等の影響はあったものの、球技場の利用者数は、昨年度より約1,400人増加した。テニスコートも1月、2月が比較的天候もよく暖かかったので約600人の増加となった。多目的コートについては、10月以降ミニサッカーの練習が増加したものの、ゲートボールクラブの解散が響いて減少した。クラブハウス内の会議室の利用はなかった。

(事業内容)

新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、利用制限もなく「つげ映画祭」を6月に実施した。また、地域間・世代間交流事業としてヨガ教室とウォーキング教室を実施した。また、体験教室として「スローエアロビック」を8月から12月にかけて計5回開催した。青空市については、猛暑の影響や台風等による天候不順が重なり開催することが出来なかった。12月恒例のクリスマスミニコンサートについては、地元中学校吹奏楽部と一般吹奏楽団とのコラボにより盛大に開催することができた。

協力事業では、8月に「つげ夏祭り2023」を開催し、夜空を彩る壮大な花火大会や盆踊り等を実施し、地域のお祭りとして世代間交流に繋げることができた。また11月には3年ぶりに「つげまつり2023」を都祁公民館・都祁福祉センター・都祁交流センター3館に所属するそれぞれの自主クラブが一同に集い文化祭展示や舞台発表を行い地域間・世代間交流を図ることができた。

催事等の開催回数 12回 参加人数 3,560人

貸借対照表
令和6年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減	備 考
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金預金	248,927,624	268,799,497	△ 19,871,873	
現金	4,847,290	3,495,440	1,351,850	
当座預金	1,500	0	1,500	
普通預金	244,078,834	265,304,057	△ 21,225,223	
未収金	40,104,306	42,586,340	△ 2,482,034	
前払金	1,348,120	1,364,270	△ 16,150	
商品	3,102,297	3,249,334	△ 147,037	
貯蔵品	54,206	54,083	123	
流動資産合計	293,536,553	316,053,524	△ 22,516,971	
2. 固定資産				
(1) 基本財産				
定期預金	50,000,000	50,000,000	0	
基本財産合計	50,000,000	50,000,000	0	
(2) 特定資産				
財政変動準備積立金	132,000,000	132,000,000	0	
減価償却引当預金	2,738,791	2,738,791	0	
書道芸術振興積立金	36,703,570	36,669,928	33,642	
永年在会給付事業積立預金	4,218,742	4,489,742	△ 271,000	
運営基金積立準備預金	5,628,291	8,322,291	△ 2,694,000	
共済事業引当預金	408,523	37,123	371,400	
記念事業費積立預金	3,484,983	3,484,983	0	
特定資産合計	185,182,900	187,742,858	△ 2,559,958	
(3) その他の固定資産				
車両運搬具	2	2	0	
什器備品	621,667	628,182	△ 6,515	
リース資産	14,407,800	2,637,360	11,770,440	
預託金	9,140	9,140	0	
その他固定資産合計	15,038,609	3,274,684	11,763,925	
固定資産合計	250,221,509	241,017,542	9,203,967	
資産の部合計	543,758,062	557,071,066	△ 13,313,004	
II 負債の部				
1. 流動負債				
未払金	99,937,380	80,013,969	19,923,411	
前受金	728,200	551,700	176,500	
預り金	21,456,060	9,296,055	12,160,005	
リース債務	2,686,200	2,637,360	48,840	
流動負債合計	124,807,840	92,499,084	32,308,756	
2. 固定負債				
リース債務	11,721,600	0	11,721,600	
固定負債合計	11,721,600	0	11,721,600	
負債の部合計	136,529,440	92,499,084	44,030,356	
III 正味財産の部				
1. 指定正味財産				
寄付金	86,003,617	86,003,617	0	
指定正味財産合計	86,003,617	86,003,617	0	
(うち基本財産への充当額)	(50,000,000)	(50,000,000)	(0)	
(うち特定資産への充当額)	(36,003,617)	(36,003,617)	(0)	
2. 一般正味財産	321,225,005	378,568,365	△ 57,343,360	
(うち特定資産への充当額)	(149,179,283)	(151,739,241)	(△ 2,559,958)	
正味財産の部合計	407,228,622	464,571,982	△ 57,343,360	
負債及び正味財産合計	543,758,062	557,071,066	△ 13,313,004	

収 支 計 算 書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益				
基本財産受取利息	9,000	6,879	2,121	
② 特定資産運用益				
特定資産受取利息	45,000	41,219	3,781	
③ 受取入会金				
受取入会金	175,000	153,500	21,500	
④ 受取会費				
受取会費	35,816,000	35,555,050	260,950	
⑤ 事業収益				
入場料収益	35,755,000	4,608,300	31,146,700	
受講料収益	67,815,000	50,041,995	17,773,005	
利用料金収益	9,007,000	6,857,880	2,149,120	
出品料収益	600,000	594,000	6,000	
参加費収益	1,662,000	773,900	888,100	
普及事業収益	485,000	159,500	325,500	
小売業収益	3,425,000	2,439,770	985,230	
受取手数料	2,489,000	3,296,761	△ 807,761	
事業受託収益	210,000	337,984	△ 127,984	
共催事業管理収益	12,365,000	14,530,000	△ 2,165,000	
その他収益	709,000	1,892,525	△ 1,183,525	
⑥ 受取補助金等				
受取指定管理料	1,182,204,000	1,196,049,123	△ 13,845,123	
受取地方公共団体補助金	26,002,000	26,002,000	0	
受取民間助成金	800,000	0	800,000	
⑦ 受取負担金				
受取負担金	20,965,000	17,516,950	3,448,050	
⑧ 雑収益				
受取利息	4,000	5,796	△ 1,796	
雑収益	2,470,000	5,953,237	△ 3,483,237	
運営協力金等収益	2,256,000	2,366,959	△ 110,959	
経常収益計	1,405,268,000	1,369,183,328	36,084,672	

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
(2) 經常費用				
① 事業費				
給料手当	444,341,000	455,358,285	△ 11,017,285	
臨時雇賃金	61,564,000	47,733,084	13,830,916	
福利厚生費	98,505,000	87,551,850	10,953,150	
視察費	50,000	0	50,000	
旅費交通費	947,000	517,060	429,940	
通信運搬費	9,136,000	7,131,910	2,004,090	
減価償却費	2,906,000	2,928,845	△ 22,845	
地方公共団体帰属備品等購入費	3,058,000	3,051,825	6,175	
消耗什器備品費	1,410,000	405,770	1,004,230	
消耗品費	25,749,000	16,642,277	9,106,723	
修繕費	14,471,000	11,674,046	2,796,954	
印刷製本費	11,945,000	9,480,112	2,464,888	
燃料費	1,434,000	1,162,300	271,700	
光熱水料費	261,332,000	262,292,013	△ 960,013	
賃借料	28,965,000	23,925,497	5,039,503	
保険料	7,257,000	5,559,062	1,697,938	
諸謝金	37,596,000	25,521,016	12,074,984	
租税公課	57,177,000	55,523,685	1,653,315	
支払負担金	4,114,000	4,072,930	41,070	
支払助成金	49,601,000	42,326,499	7,274,501	
委託費	328,088,000	285,084,199	43,003,801	
会議費	25,000	3,000	22,000	
支払手数料	8,363,000	4,674,092	3,688,908	
広告宣伝費	2,663,000	914,900	1,748,100	
仕入	1,609,000	1,305,185	303,815	
交際費	65,000	58,000	7,000	
原材料費	1,435,000	1,226,390	208,610	
医薬材料費	1,621,000	1,552,936	68,064	
雑費	98,000	603,930	△ 505,930	
② 管理費				
役員報酬	6,279,000	6,184,300	94,700	
給料手当	45,513,000	46,462,821	△ 949,821	
福利厚生費	9,490,000	9,335,364	154,636	
研修費	106,000	105,210	790	
旅費交通費	21,000	9,160	11,840	
通信運搬費	441,000	300,068	140,932	
減価償却費	202,000	201,505	495	
消耗什器備品費	56,000	55,880	120	
消耗品費	416,000	324,301	91,699	
修繕費	8,000	0	8,000	
印刷製本費	28,000	27,500	500	
燃料費	36,000	30,000	6,000	
賃借料	3,330,000	3,109,346	220,654	
保険料	5,000	3,200	1,800	
諸謝金	1,557,000	1,557,000	0	
租税公課	40,000	27,139	12,861	

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
支払負担金	281,000	218,140	62,860	
委託費	2,140,000	2,095,500	44,500	
支払手数料	198,000	197,299	701	
経常費用計	1,535,672,000	1,428,524,431	107,147,569	
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 130,404,000	△ 59,341,103	△ 71,062,897	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	△ 130,404,000	△ 59,341,103	△ 71,062,897	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
① 受取補助金等				
受取地方公共団体補助金	0	15,556,385	△ 15,556,385	
雑益				
雑益	0	8,750,226	△ 8,750,226	
経常外収益計	0	24,306,611	△ 24,306,611	
(2) 経常外費用				
① 特別退職金				
特別退職金	0	15,556,385	△ 15,556,385	
雑損失				
雑損失	0	6,681,483	△ 6,681,483	
経常外費用計	0	22,237,868	△ 22,237,868	
当期経常外増減額	0	2,068,743	△ 2,068,743	
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 130,404,000	△ 57,272,360	△ 73,131,640	
税引前当期一般正味財産増減額	△ 130,404,000	△ 57,272,360	△ 73,131,640	
法人税、住民税及び事業税	3,243,000	71,000	3,172,000	
当期一般正味財産増減額	△ 133,647,000	△ 57,343,360	△ 76,303,640	
一般正味財産期首残高	378,569,000	378,568,365	635	
一般正味財産期末残高	244,922,000	321,225,005	△ 76,303,005	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	86,004,000	86,003,617	383	
指定正味財産期末残高	86,004,000	86,003,617	383	
III 正味財産期末残高	330,926,000	407,228,622	△ 76,302,622	

正味財産増減計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益				
基本財産受取利息	6,879	5,100	1,779	
② 特定資産運用益				
特定資産受取利息	41,219	40,732	487	
③ 受取入会金				
受取入会金	153,500	169,000	△ 15,500	
④ 受取会費				
受取会費	35,555,050	35,818,250	△ 263,200	
⑤ 事業収益				
入場料収益	4,608,300	9,087,550	△ 4,479,250	
受講料収益	50,041,995	64,422,625	△ 14,380,630	
利用料金収益	6,857,880	6,816,920	40,960	
出品料収益	594,000	536,000	58,000	
協賛金収益	0	3,077,149	△ 3,077,149	
参加費収益	773,900	1,128,000	△ 354,100	
普及事業収益	159,500	132,500	27,000	
小売業収益	2,439,770	2,350,770	89,000	
受取手数料	3,296,761	4,564,040	△ 1,267,279	
事業受託収益	337,984	180,451	157,533	
共催事業管理収益	14,530,000	13,142,760	1,387,240	
その他収益	1,892,525	1,315,038	577,487	
⑥ 受取補助金等				
受取指定管理料	1,196,049,123	1,282,301,022	△ 86,251,899	
受取地方公共団体補助金	26,002,000	92,473,909	△ 66,471,909	
⑦ 受取負担金				
受取負担金	17,516,950	17,729,790	△ 212,840	
⑧ 雑収益				
受取利息	5,796	6,033	△ 237	
雑収益	5,953,237	6,241,235	△ 287,998	
運営協力金等収益	2,366,959	2,699,587	△ 332,628	
経常収益計	1,369,183,328	1,544,238,461	△ 175,055,133	

科 目	当 年 度	前 年 度	增 減	備 考
(2) 經常費用				
① 事業費				
給料手当	455,358,285	473,537,401	△ 18,179,116	
臨時雇賃金	47,733,084	55,328,184	△ 7,595,100	
福利厚生費	87,551,850	90,606,161	△ 3,054,311	
旅費交通費	517,060	434,840	82,220	
通信運搬費	7,131,910	7,363,219	△ 231,309	
減価償却費	2,928,845	3,204,782	△ 275,937	
地方公共団体帰属備品等購入費	3,051,825	118,800	2,933,025	
消耗什器備品費	405,770	174,240	231,530	
消耗品費	16,642,277	15,864,677	777,600	
修繕費	11,674,046	11,719,381	△ 45,335	
印刷製本費	9,480,112	9,662,309	△ 182,197	
燃料費	1,162,300	1,132,572	29,728	
光熱水料費	262,292,013	298,336,099	△ 36,044,086	
賃借料	23,925,497	27,199,954	△ 3,274,457	
保険料	5,559,062	6,371,841	△ 812,779	
諸謝金	25,521,016	34,596,402	△ 9,075,386	
租税公課	55,523,685	62,012,285	△ 6,488,600	
支払負担金	4,072,930	4,100,967	△ 28,037	
支払助成金	42,326,499	43,859,061	△ 1,532,562	
委託費	285,084,199	283,617,931	1,466,268	
会議費	3,000	3,000	0	
支払手数料	4,674,092	4,016,590	657,502	
広告宣伝費	914,900	1,302,300	△ 387,400	
仕入	1,305,185	1,166,136	139,049	
交際費	58,000	65,000	△ 7,000	
原材料費	1,226,390	1,114,222	112,168	
医薬材料費	1,552,936	1,301,155	251,781	
雑費	603,930	3,000	600,930	
② 管理費				
役員報酬	6,184,300	3,090,000	3,094,300	
給料手当	46,462,821	46,190,015	272,806	
福利厚生費	9,335,364	8,837,532	497,832	
研修費	105,210	60,200	45,010	
旅費交通費	9,160	6,270	2,890	
通信運搬費	300,068	268,554	31,514	
減価償却費	201,505	120,879	80,626	
消耗什器備品費	55,880	658,218	△ 602,338	
消耗品費	324,301	465,690	△ 141,389	
印刷製本費	27,500	16,500	11,000	
燃料費	30,000	28,000	2,000	
賃借料	3,109,346	4,080,733	△ 971,387	
保険料	3,200	3,200	0	
諸謝金	1,557,000	437,500	1,119,500	
租税公課	27,139	30,977	△ 3,838	

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減	備 考
支払負担金	218,140	204,850	13,290	
委託費	2,095,500	2,139,500	△ 44,000	
支払手数料	197,299	168,673	28,626	
経常費用計	1,428,524,431	1,505,019,800	△ 76,495,369	
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 59,341,103	39,218,661	△ 98,559,764	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	△ 59,341,103	39,218,661	△ 98,559,764	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
① 受取補助金等				
受取地方公共団体補助金	15,556,385	0	15,556,385	
② 雑益				
雑益	8,750,226	2,837,000	5,913,226	
経常外収益計	24,306,611	2,837,000	21,469,611	
(2) 経常外費用				
① 特別退職金				
特別退職金	15,556,385	0	15,556,385	
② 雑損失				
雑損失	6,681,483	42,302	6,639,181	
経常外費用計	22,237,868	42,302	22,195,566	
当期経常外増減額	2,068,743	2,794,698	△ 725,955	
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 57,272,360	42,013,359	△ 99,285,719	
税引前当期一般正味財産増減額	△ 57,272,360	42,013,359	△ 99,285,719	
法人税、住民税及び事業税	71,000	6,138,800	△ 6,067,800	
当期一般正味財産増減額	△ 57,343,360	35,874,559	△ 93,217,919	
一般正味財産期首残高	378,568,365	342,693,806	35,874,559	
一般正味財産期末残高	321,225,005	378,568,365	△ 57,343,360	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	86,003,617	86,003,617	0	
指定正味財産期末残高	86,003,617	86,003,617	0	
III 正味財産期末残高	407,228,622	464,571,982	△ 57,343,360	

財 産 目 録

令和6年3月31日現在

(単位：円)

科	目	金 額
I 資産の部		
1. 流動資産		
	現金預金	248,927,624
	現金	4,847,290
	当座預金	1,500
	ゆうちょ銀行	1,500
	普通預金	244,078,834
	南都銀行	239,083,998
	近畿労働金庫	4,994,836
	未収金	40,104,306
	前払金	1,348,120
	商品	3,102,297
	貯蔵品	54,206
流動資産合計		293,536,553
2. 固定資産		
基本財産		
	定期預金	50,000,000
	南都銀行	10,000,000
	近畿労働金庫	10,000,000
	奈良県農業協同組合	10,000,000
	奈良信用金庫	10,000,000
	大和信用金庫	10,000,000
特定資産		
	財政変動準備積立金	132,000,000
	減価償却引当預金	2,738,791
	書道芸術振興積立金	36,703,570
	永年在会給付事業積立預金	4,218,742
	運営基金積立準備預金	5,628,291
	共済事業引当預金	408,523
	記念事業費積立預金	3,484,983
その他固定資産		
	車両運搬具	2
	什器備品	621,667
	リース資産	14,407,800
	預託金	9,140
固定資産合計		250,221,509
資産合計		543,758,062
II 負債の部		
1. 流動負債		
	未払金	99,937,380
	前受金	728,200
	預り金	21,456,060
	リース債務	2,686,200
流動負債合計		124,807,840
2. 固定負債		
	リース債務	11,721,600
固定負債合計		11,721,600
負債合計		136,529,440
正味財産		407,228,622